



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月9日

上場会社名 株式会社浅沼組 上場取引所 東
 コード番号 1852 URL <http://www.asanuma.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浅沼 誠
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員社長室次長兼経理部長兼コーポレート・コミュニケーション部長 (氏名) 八木 良道 (TEL) 06(6585)5500
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	98,400	△5.4	3,864	△22.7	3,820	△22.2	2,996	△8.5
2020年3月期第3四半期	104,002	21.5	4,996	93.8	4,912	93.6	3,275	78.2

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 2,514百万円(△29.2%) 2020年3月期第3四半期 3,548百万円(74.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2021年3月期第3四半期	円 銭 371.92	円 銭 —
2020年3月期第3四半期	406.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2021年3月期第3四半期	百万円 83,876	百万円 40,079	% 47.6
2020年3月期	103,044	39,313	38.0

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 39,886百万円 2020年3月期 39,125百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2020年3月期	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 216.00	円 銭 216.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	250.00	250.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	134,500	△4.9	5,250	△20.5	5,290	△18.7	4,020	△6.5	498.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	8,078,629株	2020年3月期	8,078,629株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	21,345株	2020年3月期	20,321株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	8,058,024株	2020年3月期3Q	8,061,868株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
3. 補足情報	P. 10
四半期個別受注の概況	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行の影響により厳しい状況となりました。感染拡大が落ち着き経済活動の回復が見られる国がある一方、感染拡大の収束が見られず、度重なる経済活動の制約を行なう地域も多く、新型コロナウイルス感染症によるダメージは非常に大きなものとなりました。また、米大統領選挙の混乱により米中貿易摩擦の解決の糸口も見られず、引き続き世界経済への影響が懸念されます。わが国の経済においても新型コロナウイルス感染症拡大の影響は大きく、経済対策が打ち出されたものの、第3波では過去最多規模の感染拡大が見られました。個人消費の落ち込みやインバウンドの消失などの影響も大きく、世界的な経済の先行き不透明さの中、一部好調な業種があるものの多くの企業では収益や雇用・所得環境の悪化が顕在化してきております。

建設業界におきましては、民間建設投資については、新型コロナウイルス感染症拡大の中、雇用・所得環境の悪化や輸出関連をはじめとする製造業の業績悪化、インバウンドの消失に伴う宿泊関連などへの設備投資マインドの低下が見られる一方、生活様式の多様化に伴う物流施設等の需要は堅調に推移しました。また、公共建設投資については、国土強靱化政策の推進もあり、度重なる自然災害への防災・減災対策や老朽インフラ対策、災害の復旧・復興需要も含め、底堅く推移しました。

このような状況の中、当社グループは、「中期3ヵ年計画(2018年度～2020年度)」にて、様々な社会変化に対応すべく、新技術開発による人材不足対策をはじめとした生産性の向上や大学・異業種等とのオープンイノベーションによる取り組みの拡大や既存技術の洗練と新領域への挑戦により、多様に变化する経営環境の中で経営課題を的確に捉え、「浅沼組らしさ(独自性)の追求」を推し進めてきました。年度末までにしっかりと施策を完遂し、4月からスタートする新中期3ヵ年計画に繋げていきたいと考えております。

当社グループにおきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う影響により一部工事案件の発注の先送りなどが見られ、受注競争は厳しさを増してきており、当第3四半期連結累計期間の受注高は835億3千7百万円で、前年同期比21.8%の減少、売上高は984億円で前年同期比5.4%の減少、売上総利益は99億9千8百万円で前年同期比6.7%の減少となりました。

営業利益につきましては38億6千4百万円(前年同期比22.7%の減少)となりました。

経常利益につきましては38億2千万円(前年同期比22.2%の減少)となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては29億9千6百万円(前年同期比8.5%の減少)となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

(建 築)

受注高は634億9千8百万円(前年同期比29.4%の減少)、売上高は789億4千1百万円(前年同期比9.1%の減少)となり、セグメント利益は78億3千9百万円(前年同期比11.4%の減少)となりました。

(土 木)

受注高は200億3千9百万円(前年同期比18.8%の増加)、売上高は186億3千7百万円(前年同期比14.3%の増加)となり、セグメント利益は18億7千2百万円(前年同期比11.5%の増加)となりました。

また、「その他」の事業につきましては、売上高8億2千1百万円(前年同期比2.8%の減少)、セグメント利益1億1千9百万円(前年同期比88.0%の増加)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資 産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて19.8%減少し、700億8百万円となりました。これは、債権の回収が進み、受取手形・完成工事未収入金等が16億2千1百万円減少した一方、債務の支払も進んだこと等により、現金預金が163億3千万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて11.9%減少し、138億6千8百万円となりました。これは、投資その他の資産の投資有価証券が売却や時価変動により、17億1千1百万円減少したことなどによります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて18.6%減少し、838億7千6百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて38.7%減少し、306億1百万円となりました。これは、支払手形・工事未払金等が145億6千7百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて4.3%減少し、131億9千6百万円となりました。これは、退職給付に係る負債が3億3千2百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて31.3%減少し、437億9千7百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1.9%増加し、400億7千9百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上や配当金の支払などの結果、利益剰余金が12億5千6百万円増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績及び足元の状況を鑑み、2021年3月期の業績につきましては、現時点で2020年8月6日に公表いたしました業績予想から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	29,777	13,447
受取手形・完成工事未収入金等	52,092	50,471
未成工事支出金	2,066	2,669
その他のたな卸資産	69	44
未収入金	3,111	1,840
その他	252	1,595
貸倒引当金	△59	△60
流動資産合計	87,310	70,008
固定資産		
有形固定資産	4,896	4,781
無形固定資産	1,174	1,400
投資その他の資産		
投資有価証券	7,736	6,024
その他	2,579	2,313
貸倒引当金	△652	△652
投資その他の資産合計	9,662	7,685
固定資産合計	15,734	13,868
資産合計	103,044	83,876
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	26,988	12,420
短期借入金	1,807	1,804
未払金	548	534
未払法人税等	1,524	923
未成工事受入金	9,138	7,991
完成工事補償引当金	590	531
工事損失引当金	214	40
その他	9,128	6,355
流動負債合計	49,940	30,601
固定負債		
社債	1,640	1,640
長期借入金	7,916	7,665
退職給付に係る負債	4,125	3,792
その他	109	98
固定負債合計	13,790	13,196
負債合計	63,731	43,797

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,614	9,614
資本剰余金	2,165	2,165
利益剰余金	25,576	26,832
自己株式	△60	△64
株主資本合計	37,297	38,549
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,196	1,694
為替換算調整勘定	△7	△30
退職給付に係る調整累計額	△361	△326
その他の包括利益累計額合計	1,828	1,337
非支配株主持分	188	192
純資産合計	39,313	40,079
負債純資産合計	103,044	83,876

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高		
完成工事高	103,157	97,579
その他の事業売上高	844	821
売上高合計	104,002	98,400
売上原価		
完成工事原価	92,630	87,866
その他の事業売上原価	653	535
売上原価合計	93,284	88,402
売上総利益		
完成工事総利益	10,527	9,712
その他の事業総利益	190	285
売上総利益	10,718	9,998
販売費及び一般管理費	5,721	6,134
営業利益	4,996	3,864
営業外収益		
受取利息	34	25
受取配当金	130	111
持分法による投資利益	2	4
業務受託料	42	—
補助金収入	—	60
その他	30	11
営業外収益合計	239	213
営業外費用		
支払利息	91	80
為替差損	25	48
支払手数料	144	92
支払保証料	39	31
その他	22	3
営業外費用合計	323	256
経常利益	4,912	3,820
特別利益		
固定資産売却益	8	4
投資有価証券売却益	—	941
会員権退会益	1	0
その他	0	0
特別利益合計	10	946
特別損失		
固定資産売却損	0	8
減損損失	—	87
固定資産除却損	4	86
投資有価証券売却損	—	20
投資有価証券評価損	—	72
特別損失合計	4	276
税金等調整前四半期純利益	4,918	4,491

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
法人税、住民税及び事業税	1,319	1,017
法人税等調整額	314	468
法人税等合計	1,634	1,486
四半期純利益	3,283	3,004
非支配株主に帰属する四半期純利益	8	7
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,275	2,996

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	3,283	3,004
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	183	△501
為替換算調整勘定	△18	△23
退職給付に係る調整額	100	34
その他の包括利益合計	264	△490
四半期包括利益	3,548	2,514
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,543	2,510
非支配株主に係る四半期包括利益	5	3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. 補足情報

四半期個別受注の概況

① 個別受注実績

	受注高	
2021年3月期第3四半期累計期間	82,733百万円	△21.1%
2020年3月期第3四半期累計期間	104,871	0.6

(注) %表示は、対前年同四半期増減率を示す。

(参考)受注実績内訳

区 分		2020年3月期 第3四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)		2021年3月期 第3四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)		比較増減		
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	増減率(%)	
建 設 事 業	建 築	官 庁	20,212	19.3	12,754	15.4	△7,458	△36.9
		民 間	67,791	64.6	49,939	60.4	△17,851	△26.3
		計	88,004	83.9	62,694	75.8	△25,309	△28.8
	土 木	官 庁	13,332	12.7	10,803	13.1	△2,528	△19.0
		民 間	3,534	3.4	9,236	11.1	5,701	161.3
		計	16,866	16.1	20,039	24.2	3,172	18.8
	合 計	官 庁	33,544	32.0	23,557	28.5	△9,987	△29.8
		民 間	71,326	68.0	59,175	71.5	△12,150	△17.0
		計	104,871	100	82,733	100	△22,137	△21.1

② 個別受注予想

	受注高	
2021年3月期予想	125,000百万円	△14.2%
2020年3月期実績	145,726	△5.2

(注) %表示は、対前年同期増減率を示す。

[個別受注実績に関する定性的情報]

当第3四半期累計期間の個別受注実績は、前年同期比21.1%減の827億3千3百万円となりました。部門別では、建築部門は官庁・民間ともに受注が減少しました。土木部門は官庁受注が減少し、民間受注が増加しております。